



大阪科学・大学記者クラブ 各位

公立大学法人大阪市立大学
理事長選考会議議長 柏木 孝

公立大学法人大阪市立大学の次期理事長兼学長予定者 を選出しました

現理事長が平成26年3月31日をもって任期満了となるため、公立大学法人大阪市立大学理事長選考会議で選考を行いました。選考の結果、下記のとおり予定者の選出をいたしましたので、お知らせいたします。

1 次期理事長兼学長予定者

西澤 良記（にしざわ よしき）氏

[現公立大学法人大阪市立大学理事長兼学長]

2 次期理事長兼学長の任期

平成26年4月1日から平成28年3月31日まで（2年間）

なお、今後、公立大学法人は次期理事長兼学長予定者を大阪市長に申し出ます。

3 選考理由

西澤氏は、府立大学との大学統合に向けての検討協議に経験と実績があり、これまでの市立大学が培ってきた歴史、伝統を踏まえ、大学のブランドを維持させながら、円滑に新大学へ継承・反映することが期待できる人物である。

また、学生、卒業生など、ステークホルダーへの説明責任を果たすことができるという、現在の大阪市立大学の理事長兼学長に求められる資質をも満たす人物である旨、確認し、理事長予定者として決定した。

理事長選考会議としては、西澤理事長予定者に、設立団体に政策提言を行うなど、大阪における公立大学の果たすべき使命・役割を推進されることを期待している。

【参考：理事長選考会議とは】

地方独立行政法人法に規定する「学長となる理事長が学長となる大学に係る選考機関」に相当する機関として、公立大学法人大阪市立大学定款の規定により設置。法人の経営審議会からの選出委員3名、大学の教育研究評議会からの選出委員3名の計6名の委員で構成。

(構成)

柏木 孝 (副理事長)、野村正朗 (新日本理化株式会社 取締役会長)、吉川富夫 (元公立大学
法人県立広島大学経営情報学部 教授 (※吉は異体字) [以上、経営審議会選出]

石河 修 (理事兼病院長)、鈴木洋太郎 (経営学研究科長)、日野泰雄 (工学研究科長) [以上、
教育研究評議会選出]

4 選考経過

- 平成 25 年 10 月 25 日 教育研究評議会 開催
 - ・理事長選考会議委員の選出
- 同 11 月 21 日 経営審議会 開催
 - ・理事長選考会議委員の選出
- 第 1 回 理事長選考会議 開催
 - ・理事長兼学長の選考方法の議論⇒意向投票の廃止
 - ・理事長兼学長の任期にかかる議論
 - ・おおまかなスケジュールの確認
 - ・理事長選考規程改正案の作成
- 同 11 月 22 日～27 日 第 2 回 理事長選考会議 (メール会議)
 - ・理事長選考規程改正案を修文・承認
- 同 11 月 28 日 理事長候補者 募集開始
 - ・同日付、学内における説明会の開催及びメールでの周知
- 同 12 月 17 日 事務局より再度、募集締め切り期間について周知

- 同 12 月 20 日 募集締め切り
- 同 12 月 26 日 第 3 回 理事長選考会議 開催
 - ・理事長兼学長の任期について
 - ・理事長兼学長となる者の要件について
 - ・理事長選考対象者の決定
- 平成 26 年 1 月 17 日 第 4 回理事長選考会議
 - ・次期理事長予定者を選出

【参考資料 1】

理事長・学長となる者の要件

【参考資料 2】

西澤良記氏 略歴

【本件に関する問い合わせ先】

公立大学法人大阪市立大学理事長選考会議事務局

(企画総務課内) 柏村・東川 06-6605-2010

理事長・学長となる者の要件

【法上の規定】地方独立行政法人法第71条第6号（抜粋）

6 第三項に規定する学長となる理事長の選考及び前項に規定する学長を別に任命する大学の学長の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから行わなければならない。

【特に学長として期待される要件】

- 1 教育研究活動について将来性を展望でき、優れた判断力を持つ人物
- 2 大学改革について実行力のある人物
- 3 大学構成員の幅広い支持・信頼が得られる人物
- 4 学内教員の中から中間管理職（学部長・研究科長など）人材を育成でき人物
- 5 対外的に大学の教育研究のポリシーを普及・啓発し、利害を調整できる人物

【特に理事長として期待される要件】

- 1 大学運営において、優れた経営能力・判断力を有する人物
- 2 組織の戦略を普及・啓発できる調整力と説得力を持つ人物
- 3 構成員（教職員）を目標に向かって動機付けることのできる人物

【とりわけ現在の大阪市立大学に求められる要件】

- ・大阪における公立大学のビジョンを描ける人物
- ・府立大学との統合に向けて具体的な検討作業中であることを踏まえ、これに関する経験・実績を含めて、大学等の組織運営についての経験・実績があること
- ・これまでの市立大学が培ってきた歴史、伝統を踏まえ、大学統合の意義を理解し、大学のブランドを維持させながら、円滑に新大学へ継承・反映できる人物
- ・新大学の受験生・保護者や、市立大学の在学生・保護者・卒業生・組合・議会へ説明責任を果たせる人物
- ・人材育成力、人材発見力に卓越した人物

【参考資料2】

■西澤 良記 氏 略歴

(ふりがな) 氏 名	にしざわ よしき 西 澤 良 記	男 ・ 女
生年月日	昭和 20 年 5 月 15 日生 (68 歳)	
学 歴	年 月	事 項
	昭和 45 年 9 月	大阪市立大学医学部卒業
	昭和 50 年 3 月	大阪市立大学大学院医学研究科内科系専攻内科学 2 課程 修了
	昭和 50 年 9 月	米国カリフォルニア州立大学ロサンジェルス校医学部 内分泌部
学 位 免許・資格	年 月	事 項
	昭和 45 年 9 月	医学学士
	昭和 45 年 12 月	医師免許
	昭和 50 年 3 月	医学博士
	昭和 63 年 10 月	日本内科学会認定医
	平成 2 年 5 月	日本糖尿病学会認定医
	平成 3 年 4 月	日本腎臓病学会認定専門医
	平成 3 年 8 月	日本透析療法学会認定医
専門分野	代謝内分泌病態内科学	
職 歴	年 月	事 項
	昭和 54 年 4 月	大阪市立大学助手
	昭和 61 年 4 月	大阪市立大学講師
	平成元年 4 月	大阪市立大学助教授
	平成 11 年 5 月	大阪市立大学教授 (医学部内科学第二教室)
	平成 12 年 4 月	大阪市立大学大学院教授 (医学研究科代謝内分泌病態内 科学)
	平成 14 年 4 月	大阪市立大学医学部附属病院副院長
	平成 18 年 4 月	大阪市立大学大学院医学研究科長、医学部長
	平成 19 年 8 月	米国トーマスジェファーソン大学客員教授
	平成 22 年 4 月	大阪市立大学理事長兼学長 (現在に至る)
賞 罰	年 月	事 項
	平成 19 年	平成 19 年度日本骨粗鬆症学会学術振興賞 (第 7 回 旭化 成学術振興賞)
	平成 20 年	Thomas Addis Medal 2008 (International Society of Renal Nutrition & Metabolism, Extraordinary Contribution) June, 2008

	平成 25 年 10 月	日本骨粗鬆症学会 学会賞
主な教育研究業績 (5 件以内)	年 月	事 項
	昭和 53 年	G.A.Bray & Y. Nishizawa. Ventromedial hypothalamus modulates fat mobilisation during fasting. Nature 274:900-2.
	昭和 63 年	Y. Nishizawa, et al. Calcium/calmodulin-mediated action of calcitonin on lipid metabolism in rats. J Clin Invest 82:1165-72.
	平成 15 年 11 月	西沢良記著 「痛い」「だるい」は生活習慣病のサイン、講談社+α新書、p.1-p.189.
	平成 19 年	Y. Nishizawa, H. Morii, J. Durlach ed. New Perspectives in Magnesium Research; Nutrition and Health, Springer-Verlag London, p.1-p.411.
	平成 20 年 7 月	西沢良記編 最新透析医学 医薬ジャーナル社、p.1-p.734.
学界及び社会における主な活動等	年 月	事 項
	平成 10 年～	日本マグネシウム学会理事長
	平成 13～22 年	大阪透析研究会会長
	平成 18 年～	日本歯科骨粗鬆症研究会副理事長
	平成 18～20 年	日本透析医学会理事長
	平成 18～22 年	日本腎臓学会理事
	平成 22 年	日本内科学会理事
	平成 19 年～	Council : International Society of Uremic Toxicity Council: International Society of Nutrition and Metabolism of Renal Diseases
	平成 20 年	厚生労働省医薬品食品局審査課一般用医薬品部会委員 厚生労働省医薬品食品局審査課ジェネリック医薬品品質情報検討会ワーキンググループ
	平成 14～20 年	宇宙環境利用に関する公募地上研究 最終評価委員(平成 19 年からは委員長)
	平成 22 年	日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (2 段 第二部会医歯薬学Ⅱ小委員会、内科系臨床医学)
	平成 20～22 年	大阪市健康づくり委員会委員、大阪市骨粗鬆症対策委員会委員、大阪市生活習慣病検診委員会委員
平成 18 年～	大阪科学賞選考委員会委員(平成 23 年からは委員長)	
平成 22 年～	財団法人 国際高等研究所 評議員	
平成 22 年～	財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 評議員	